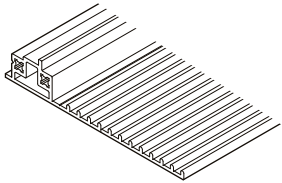
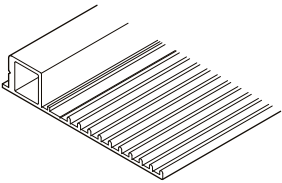
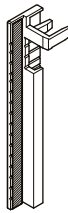
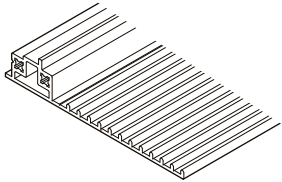
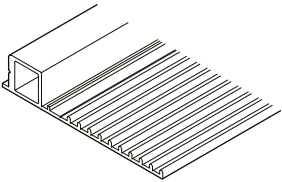
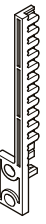
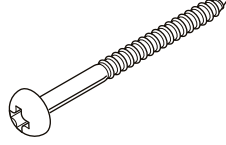
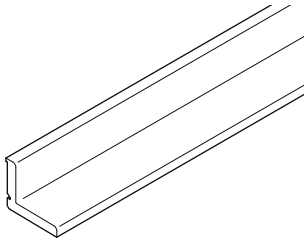
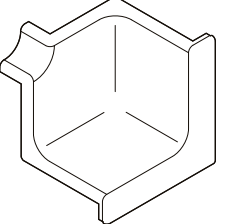
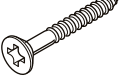


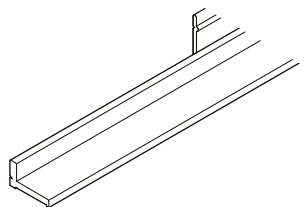
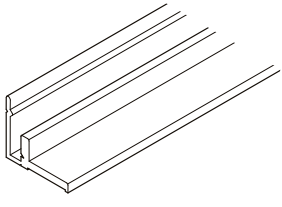
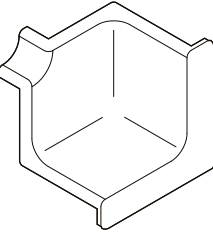
- この説明書は、必ず組立て・取付けされる方にお渡してください。
- 組立て・取付け上のお願い
- 組立ての際には必ず手袋の着用をしてください。カッターを使用する作業があるため、ケガをするおそれがあります。
- 必ず指定の組立て・取付けねじを使用してください。
- ソリや伸びを防止するため、直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズがついたりしやすいため、ぶついたり、こすったりしないでください。
- 樹脂が割れたり変形するおそれがありますので、組立てねじは1.0～1.5N・m{10～15kgf・cm}のトルクで締めてください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。

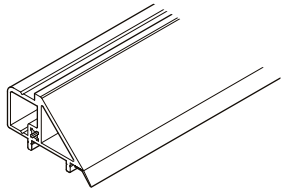
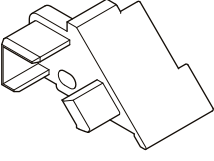
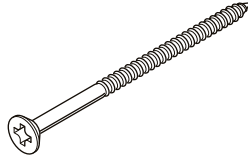
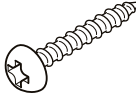
■部材・部品一覧表

アングルカバー(分割式)			
アングルカバー		端部部材	取付けねじ
①	②		
			
横アングルカバー	縦アングルカバー	アングルカバー分割式端部ピース	アングルカバー取付けねじ 皿タッピン(1種) φ4×12

アングルカバー(組立式)				
アングルカバー		端部部材	組立ねじ	取付けねじ
①	②			
				
横アングルカバー	縦アングルカバー	アングルカバー端部ピース (組立式)	アングルカバー組立ねじ 丸木ねじ (組立式の場合) φ3.8×50	アングルカバー取付けねじ 皿タッピン(1種) φ4×12

L型見切材		
見切材	コーナーピース	取付けねじ
		
L型見切材	見切材コーナーピース	見切材取付けねじ 皿木ねじ(1種) φ3.1×20

F型見切材			
見切材		コーナーピース	取付けねじ
			
F型横見切材	F型縦見切材	見切材コーナーピース	見切材取付けねじ 皿木ねじ(1種) φ3.1×20

掃出しアタッチメント			
掃出しアタッチメント	端部ピース	取付けねじ	
			
掃出しアタッチメント	掃出しアタッチメント 端部ピース	掃出しアタッチメント 取付けねじ 皿木ねじ φ3.1×56	掃出しアタッチメント 端部ピース取付けねじ なべタッピンねじ(1種) φ4×25



仕上げ材取付動画
(分割式)



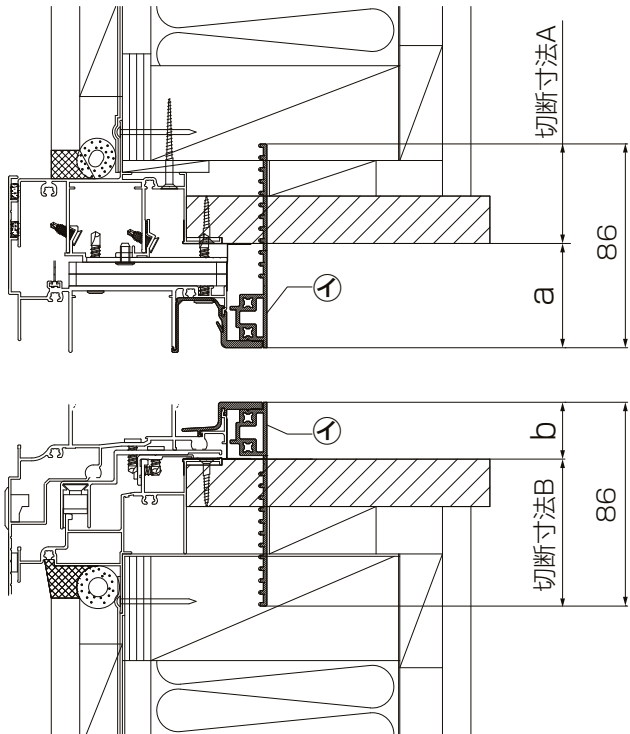
仕上げ材取付動画
(組立式)

1. アングルカバー切断寸法の確認

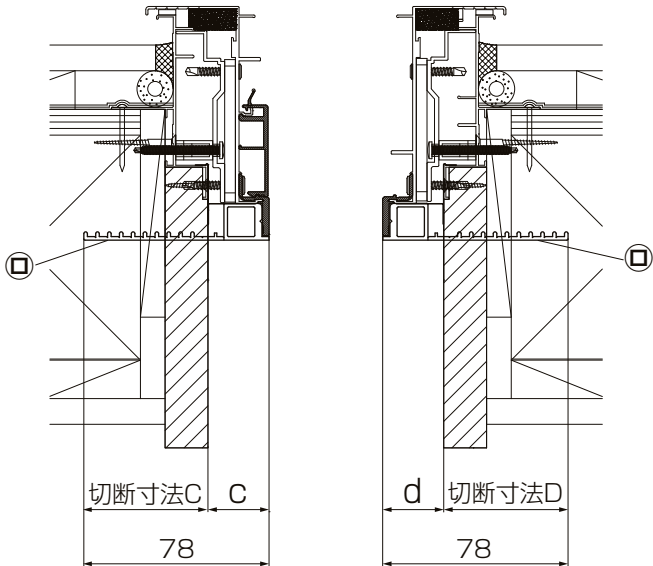
新設サッシ枠アングルから既設窓枠までのa～d寸法を採寸し、アングルカバーの切断寸法A～Dを決めてください。
※F型見切材を使用する場合は、a～d寸法から2mmを引いて、アングルカバーの切断寸法A～Dを決めてください。

【引違い窓】

■縦断面図

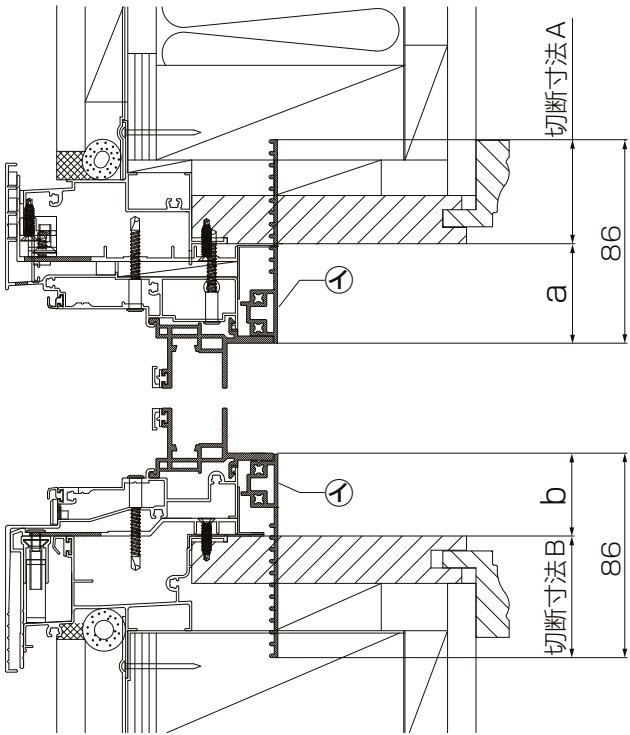


■横断面図

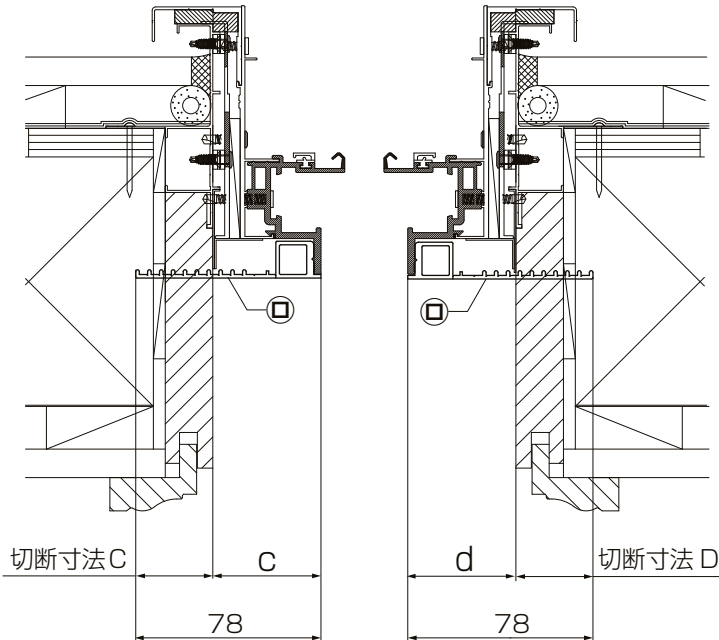


【装飾窓】

■縦断面図



■横断面図



新設サッシ枠アングル上面～既設窓枠	上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
	a	b	c	d

アングルカバー切断寸法	L型見切材・見切材なし	上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
	F型見切材	A=86-a	B=86-b	C=78-c	D=78-d
L型見切材	F型見切材	A=86-(a-2)	B=86-(b-2)	C=78-(c-2)	D=78-(d-2)

見切材の端部のカット寸法 参考：カット後の見切材寸法＝窓枠の内々寸法－32	上枠側	下枠側	左縦枠側	右縦枠側
	102-a	102-b ※(86-b)	94-c	94-d

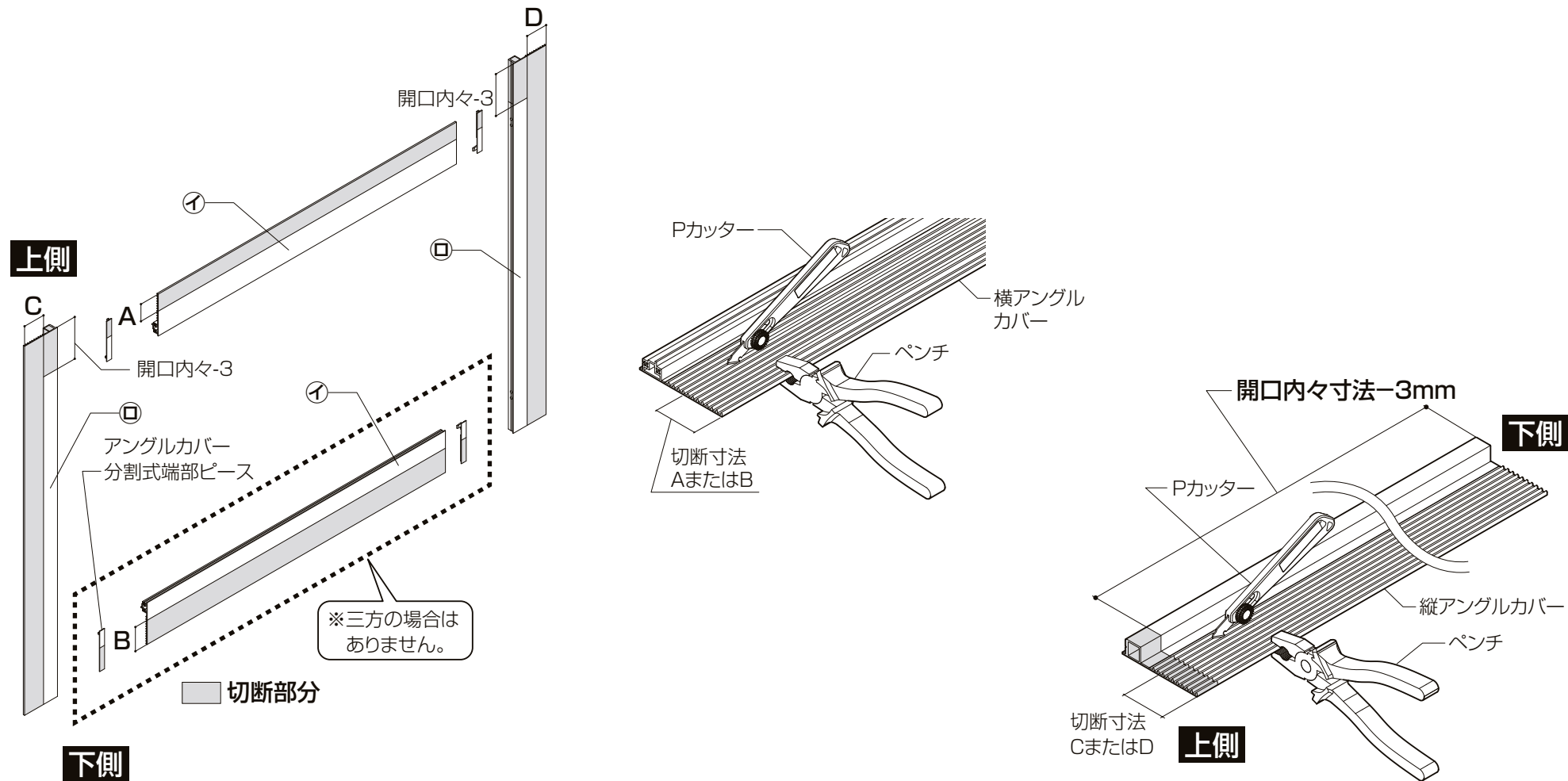
※三方の場合

2. アングルカバー(分割式)の加工・取付け ※アングルカバー(組立式)の場合は3へ

2-1 アングルカバーの加工

アングルカバーの切断をします。

- ①アングルカバーを、決定した寸法A～Dにあわせて納まりにあう溝で切断してください。
溝に合わせてPカッターで数回切れ目を入れ、ペンチなどで折るようにして切断します。
- ②縦アングルカバーは全長の切断が必要になります。
開口部内々の寸法を採寸して、採寸寸法から3mm程度小さく全長を切断をします。(丁度の場合は気密テープと干渉する場合があります。)



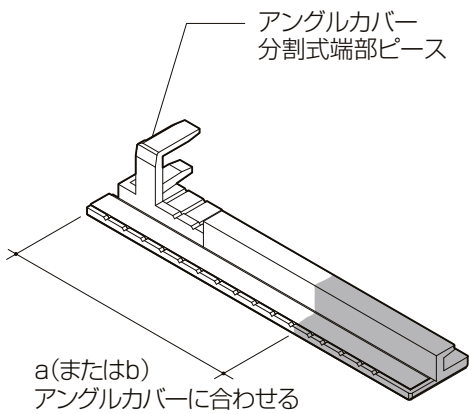
お願い
※溝の切り込みが浅いと裏面が白化する可能性がありますので十分に切り込みを入れ、丁寧に折り取ってください。

2-2 アングルカバー分割式端部ピースの加工

アングルカバー分割式端部ピースの切断をします。見切材を使用する場合は、見切り材と干渉しないように以下の通りに切断してください。
※例として、a寸法が36mmの場合を示します。

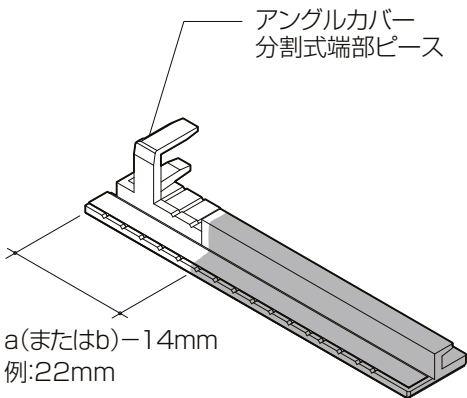
- ①見切材を使用しない場合は、横アングルカバーに合わせて切断します。
- ②L型見切材を使用する場合は、a及びb寸法から”14mm”を引いた寸法になるように切断します。
- ③F型見切材を使用する場合は、a及びb寸法から”9mm”を引いた寸法になるように切断します。

①見切材を使用しない場合



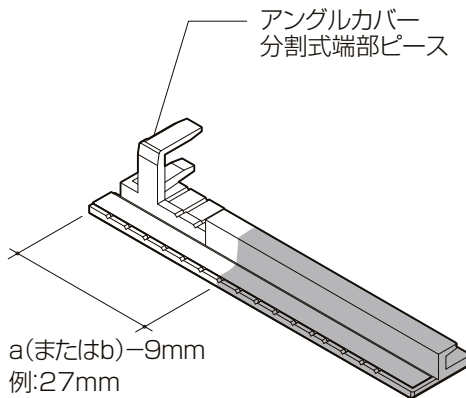
②L型見切材を使用する場合

例：36mm-14mm=22mm



③F型見切材を使用する場合

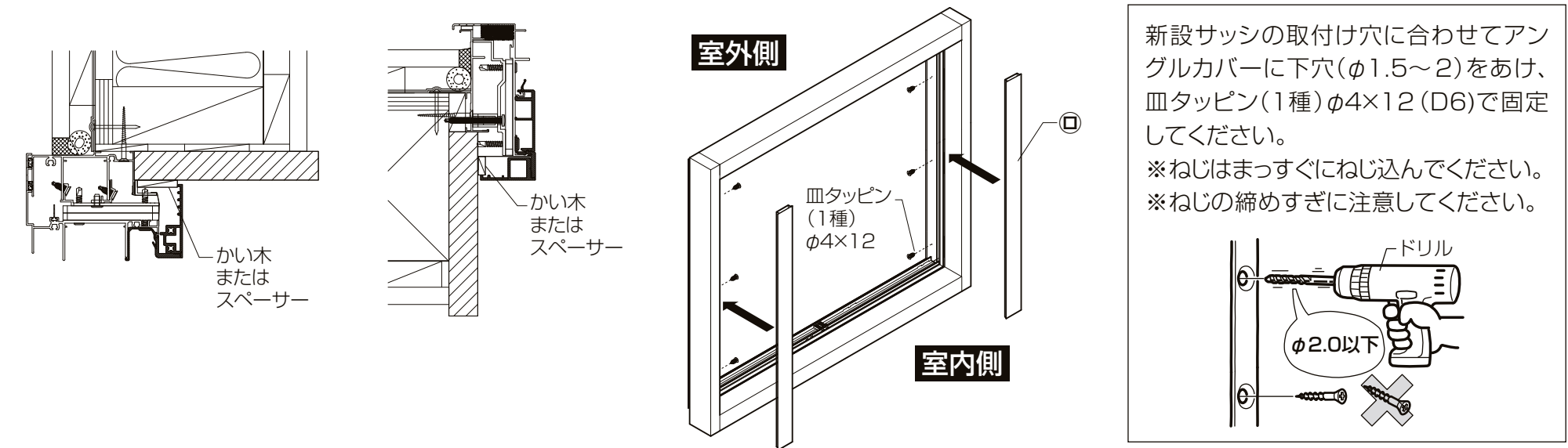
例：36mm-9mm=27mm



2. アングルカバー(分割式)の加工・取付け

2-3 アングルカバーの取付け

- ①アングルカバーの足がガタツク場合は、ガタツキを抑えるため、かい木またはスペーサーを入れてください。
- ②㊦縦アングルカバーを皿タッピン(1種)φ4×12で取付けます。

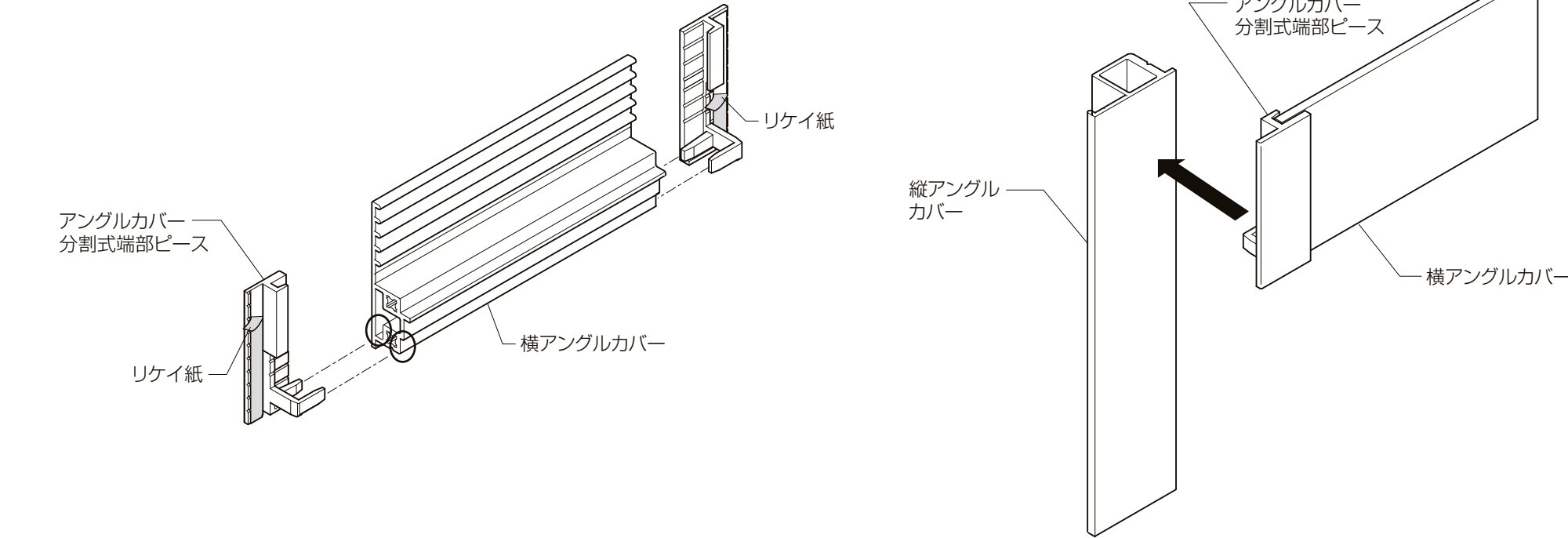


- ③横アングルカバーの両側にアングルカバー分割式端部ピースをはめて、リケイ紙をはがして横アングルカバーを左右均等にはめ込んでください。

●図は見切材なしの場合(上枠側)

(裏側)

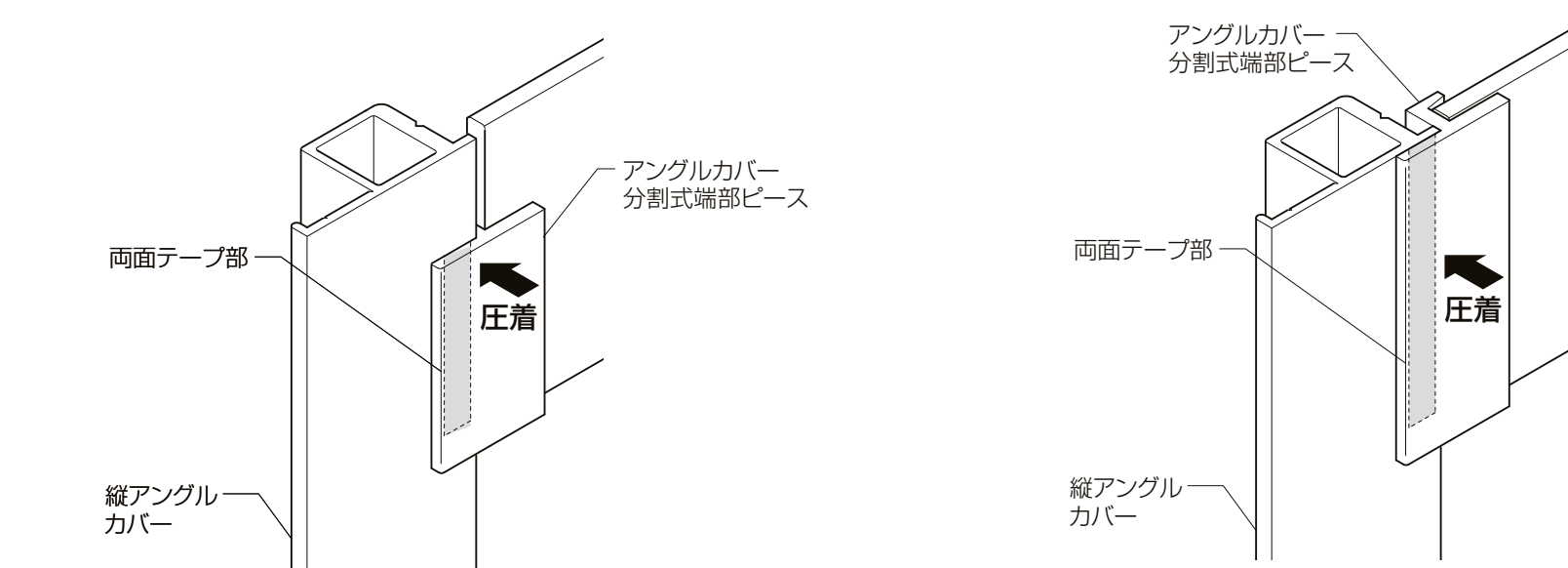
(表側)



- ④横アングルカバーを皿タッピン(1種)φ4×12で取付け、最後にアングルカバー分割式端部ピースの両面テープ部を圧着してください。
- ※見切材を使用しない場合は、[6/10](#) **4 アングルカバーの取付け(見切材を使用しない場合)**を参照してください。

●見切材ありの場合

●見切材なしの場合

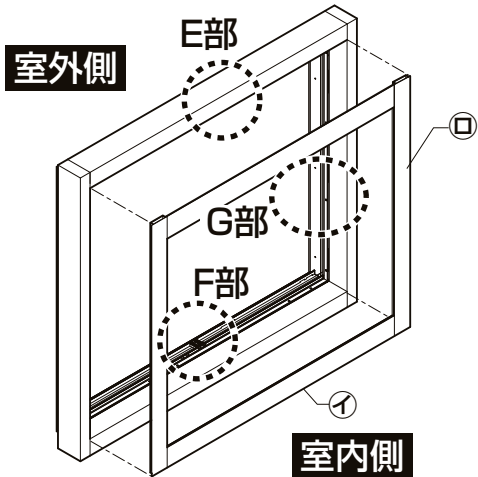


4. アングルカバーの取付け(見切材を使用しない場合)

4-1 アングルカバーの取付け

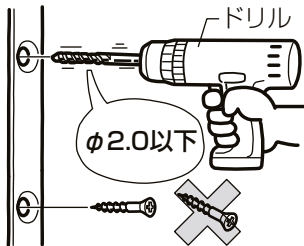
①アングルカバーを新設サッシに取り付けます。

※アングルカバーの足ががたつく場合は、かい木またはスペーサーを入れてください。

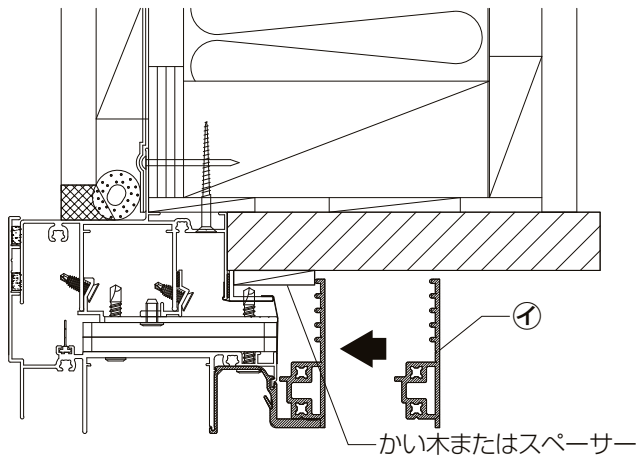


②新設サッシの取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴(φ1.5~2)をあけ、皿タッピン(1種)φ4×12で固定してください。

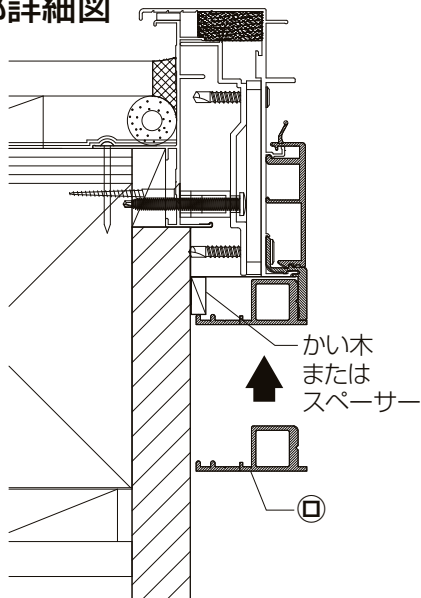
※ねじはまっすぐにねじ込んでください。
※ねじの締めすぎに注意してください。



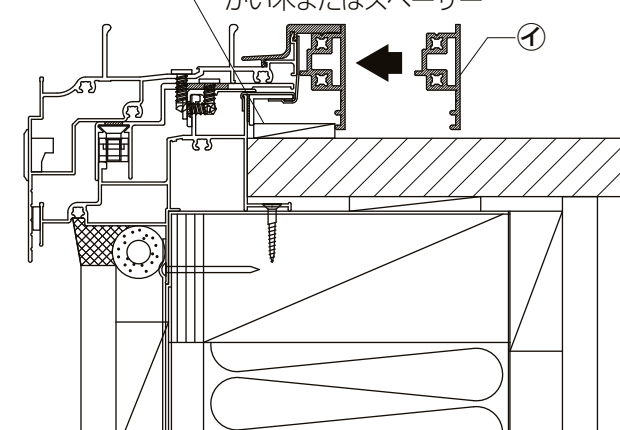
E部詳細図



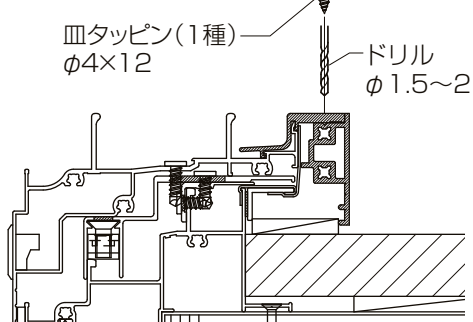
G部詳細図



F部詳細図

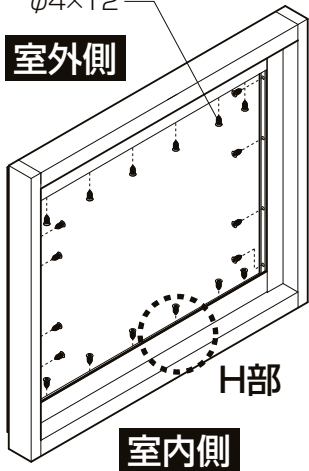


H部詳細図



皿タッピン(1種)
φ4×12

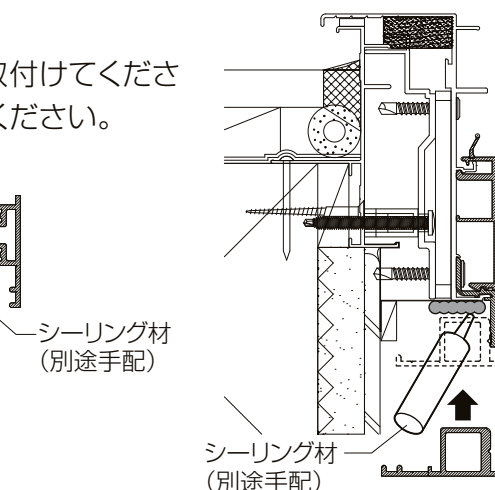
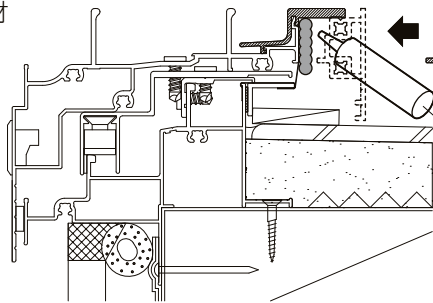
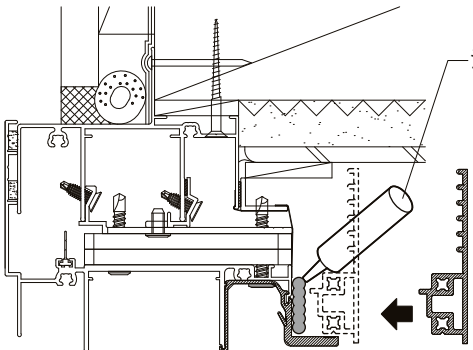
室外側



室内側

■浴室に使用する場合

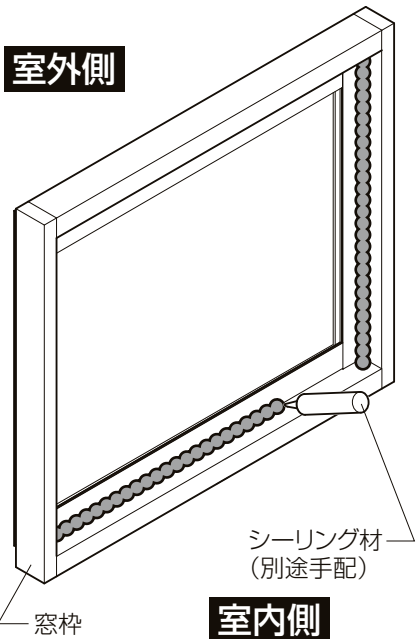
入水を抑えるため、新設サッシ枠アングル周りをシーリングし、アングルカバーを取付けてください。シーリングの際は、アングルカバーの浮きを抑えるため、縦枠は薄く塗布してください。



4-2 シーリング処理

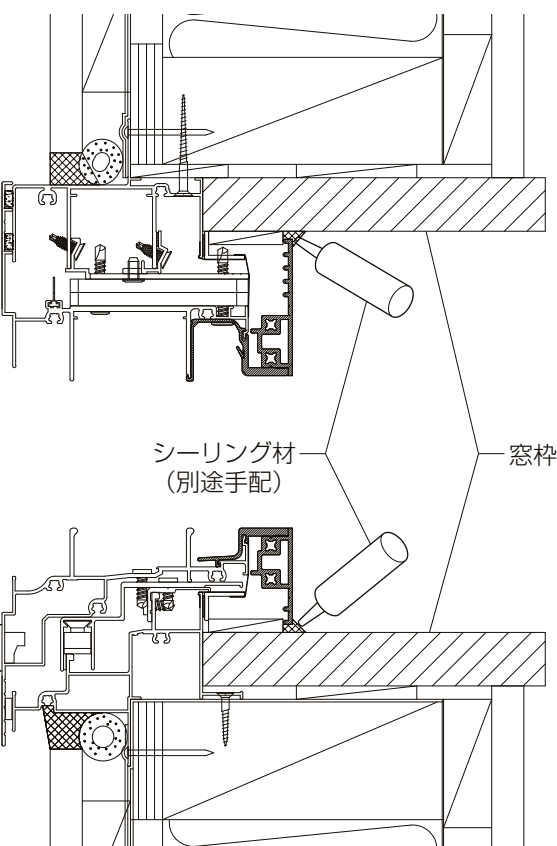
①窓枠とアングルカバーのすき間をシーリング処理してください。

室外側

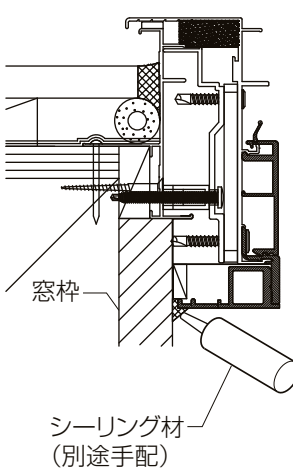


室内側

■縦断面図

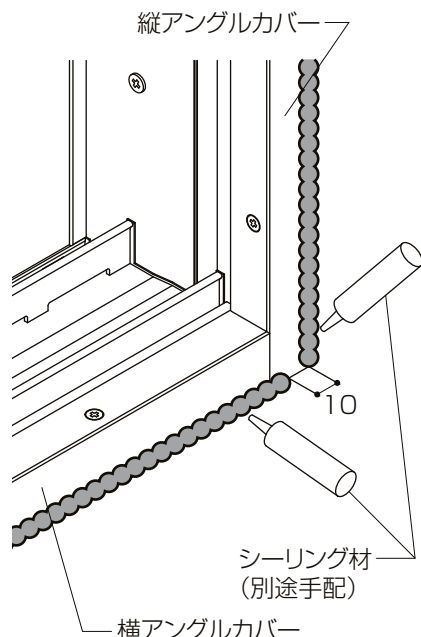


■横断面図



■浴室に使用する場合

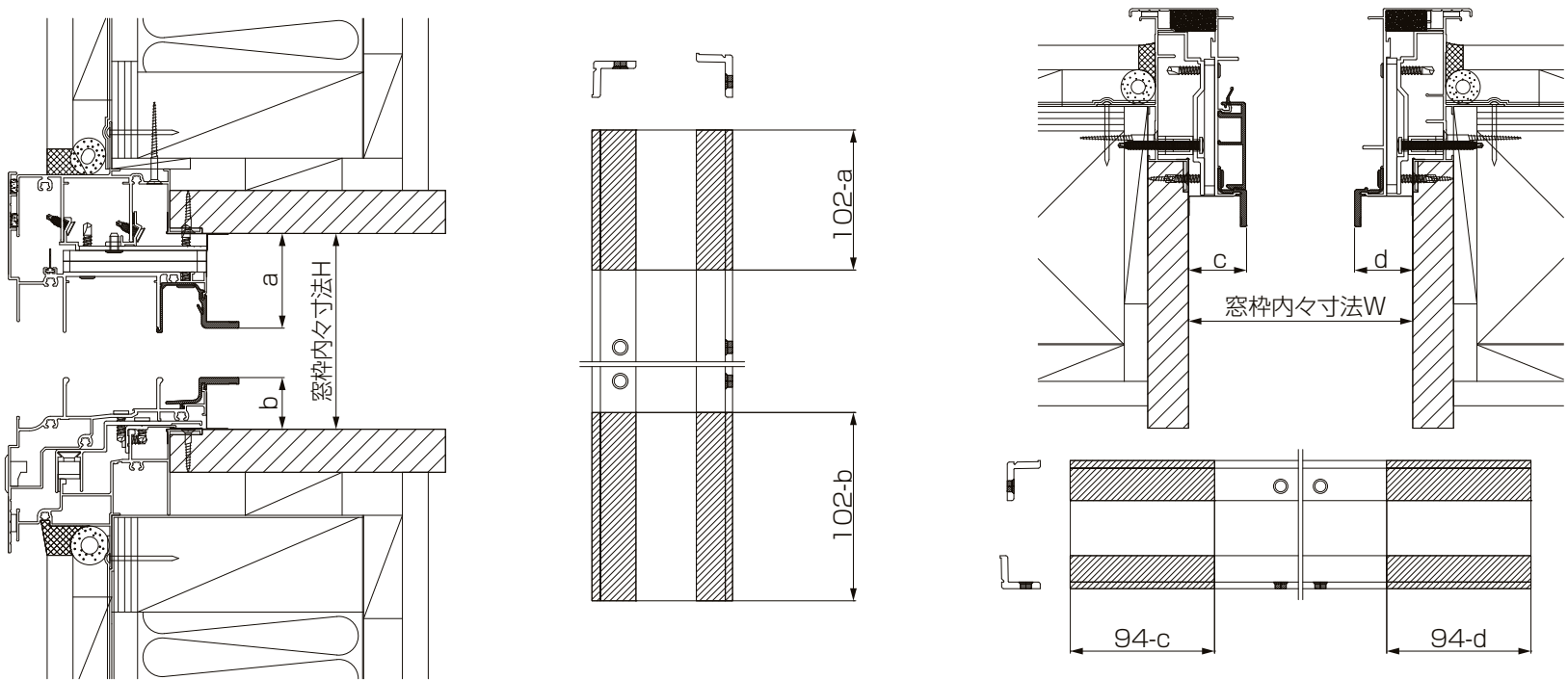
排水経路を確保するため、アングルカバーの下側両端部10mmはシーリングしないでください。



5. L型見切材の加工・取付け

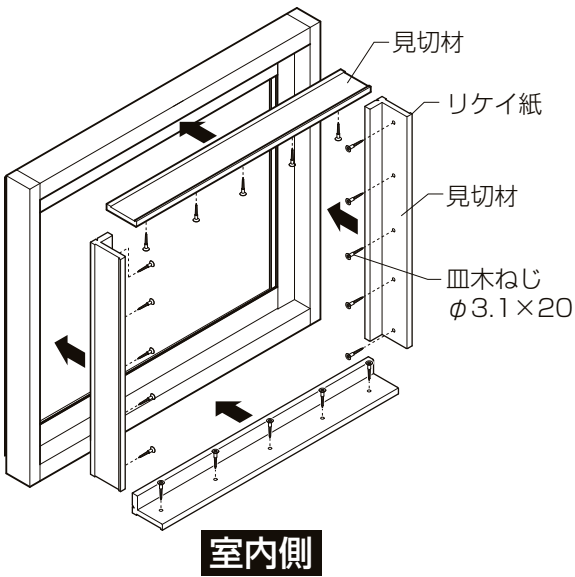
5-1 L型見切材の加工

- ①横見切材・縦見切材を切断します。切断寸法は次の採寸結果より算出して切断してください。
※参考：切断後の見切材の寸法＝窓枠の内々寸法－32mm

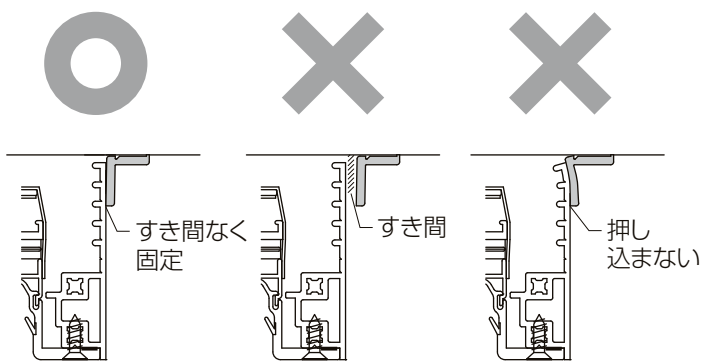


5-2 L型見切材の取付け

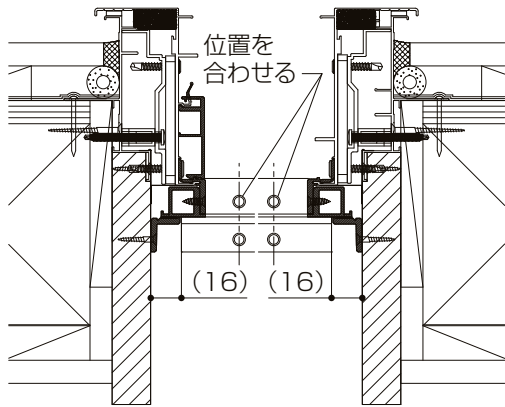
- ①L型見切材のリケイ紙をはがして、窓枠に当ててスライドさせながらアングルカバーとすき間が出ないようにアングルカバーに押し付けて圧着してください。
※サッシ本体のアングルねじ穴とL型見切材の取付け穴位置を合わせて固定します。
②圧着したら、皿木ねじφ3.1×20でねじ止めします。



※見切材はすき間なく取付けてください。
その際、見切材を押し込んで、アングルカバーが曲がらないようにしてください。

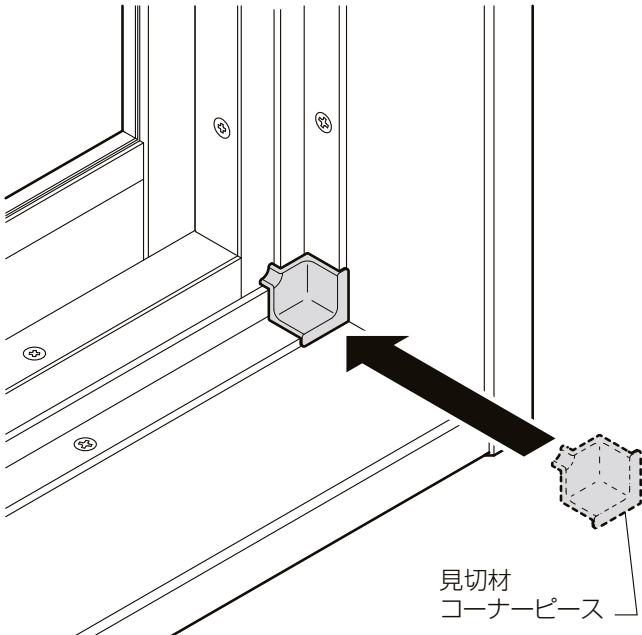


例：横断面



5-3 L型見切材コーナースピースの取付け

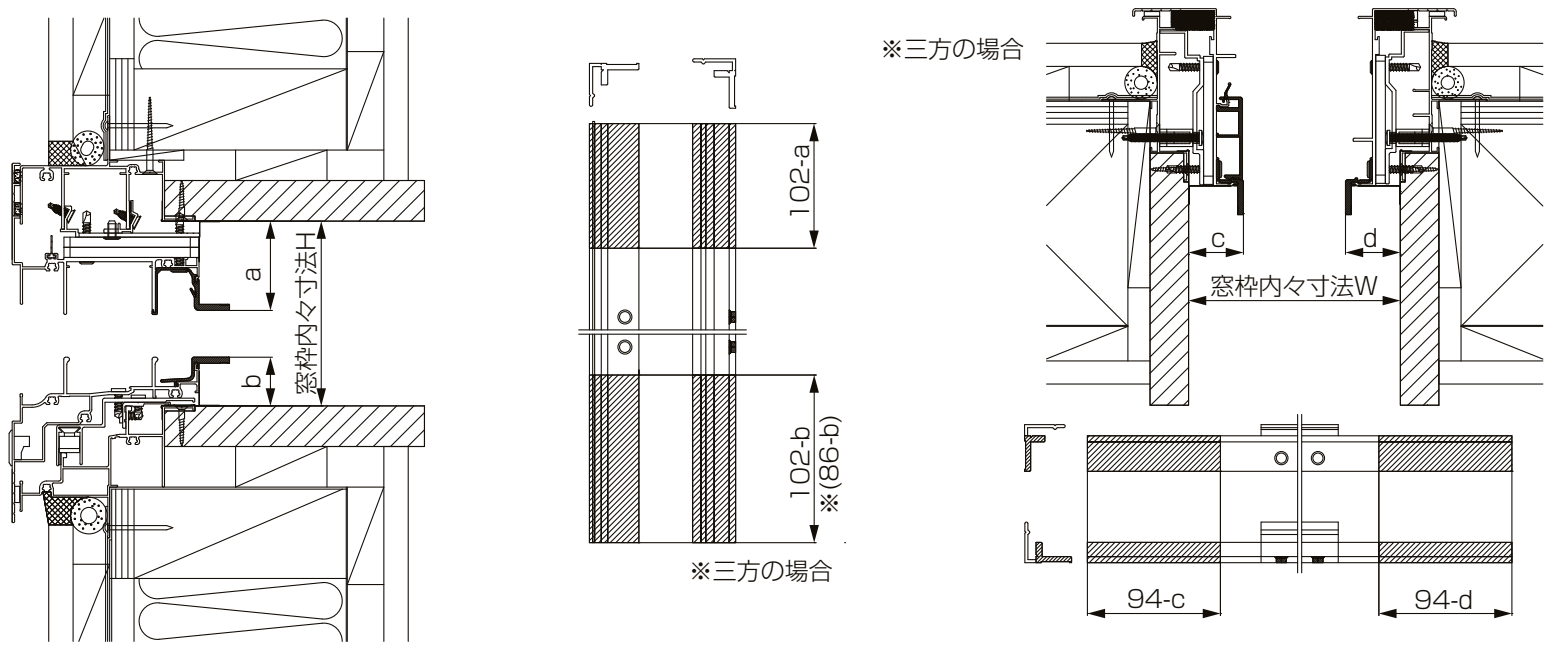
- ①見切材コーナースピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナースピー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
③窓枠に強く押付けて圧着します。



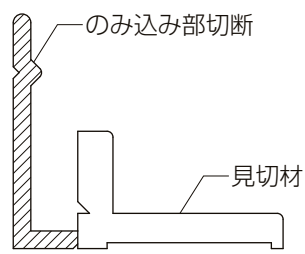
6. F型見切材の加工・取付け

6-1 F型見切材の加工

①横見切材・縦見切材をカットします。カット寸法は①の採寸結果より算出して切断してください。
※参考：切断後の見切材の寸法＝窓枠の内々寸法－32mm

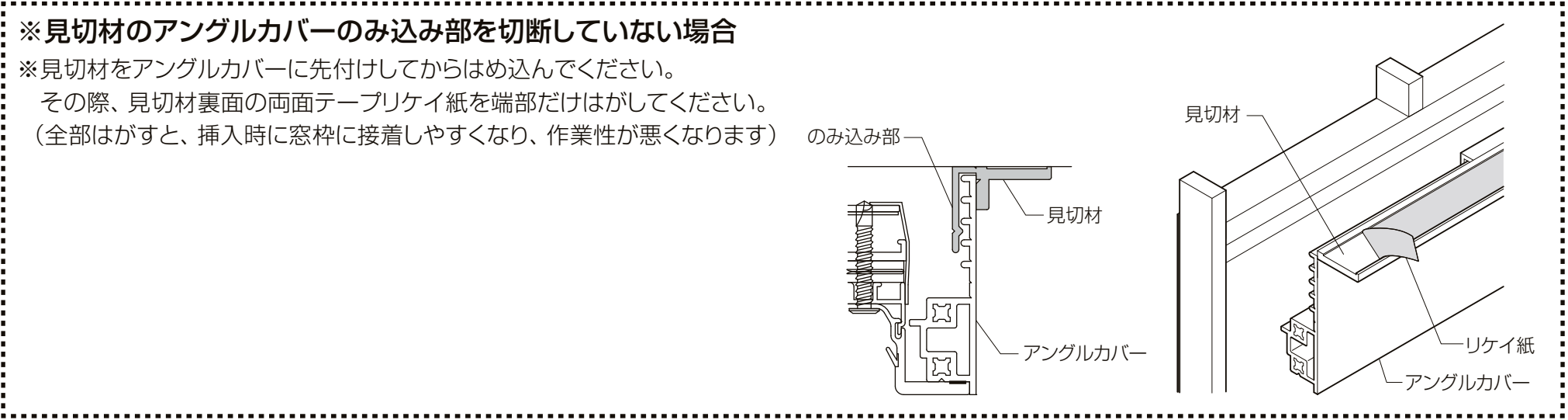
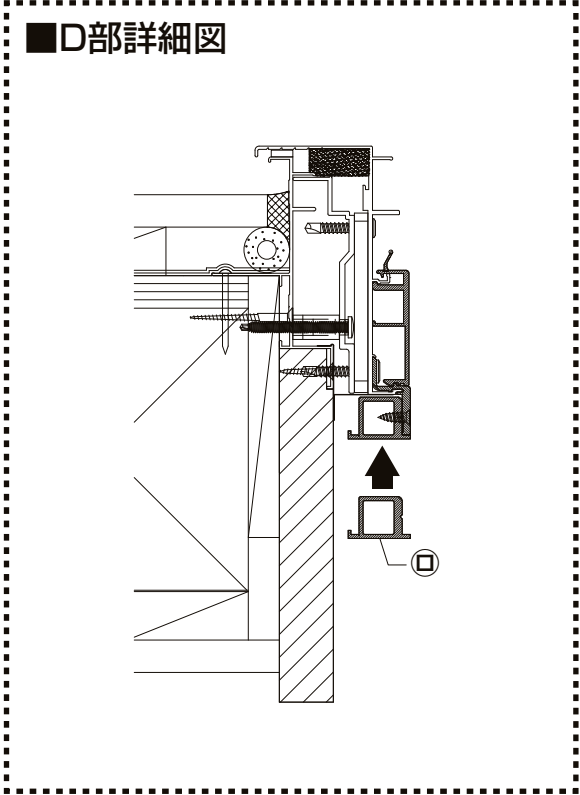
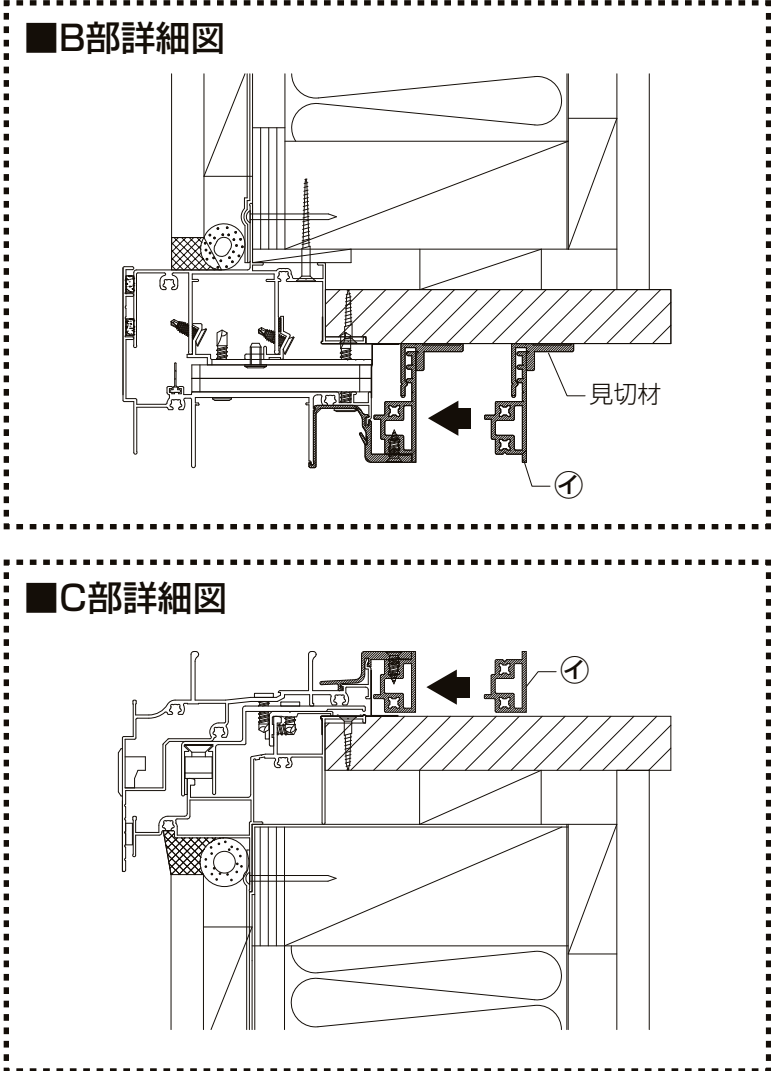
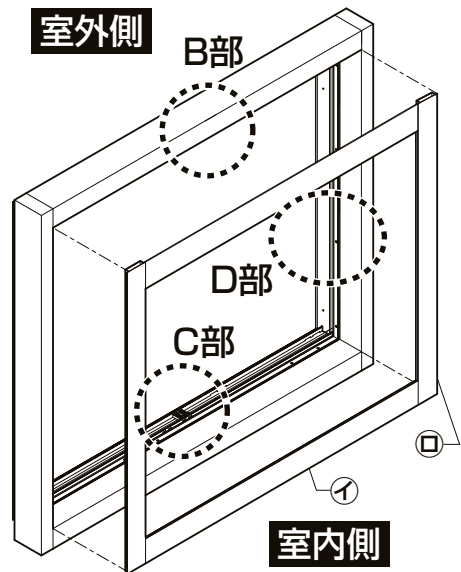


【(a、bが43mm未満)または(c、dが40mm未満)の場合】
アングルカバーのみ込み部の切断が必要です。切断の際は、溝に合わせてPカッターで数回切れ目を入れ、ペンチなどで折るようにして形材を切断してください。



6-2 アングルカバー、見切材の取付け

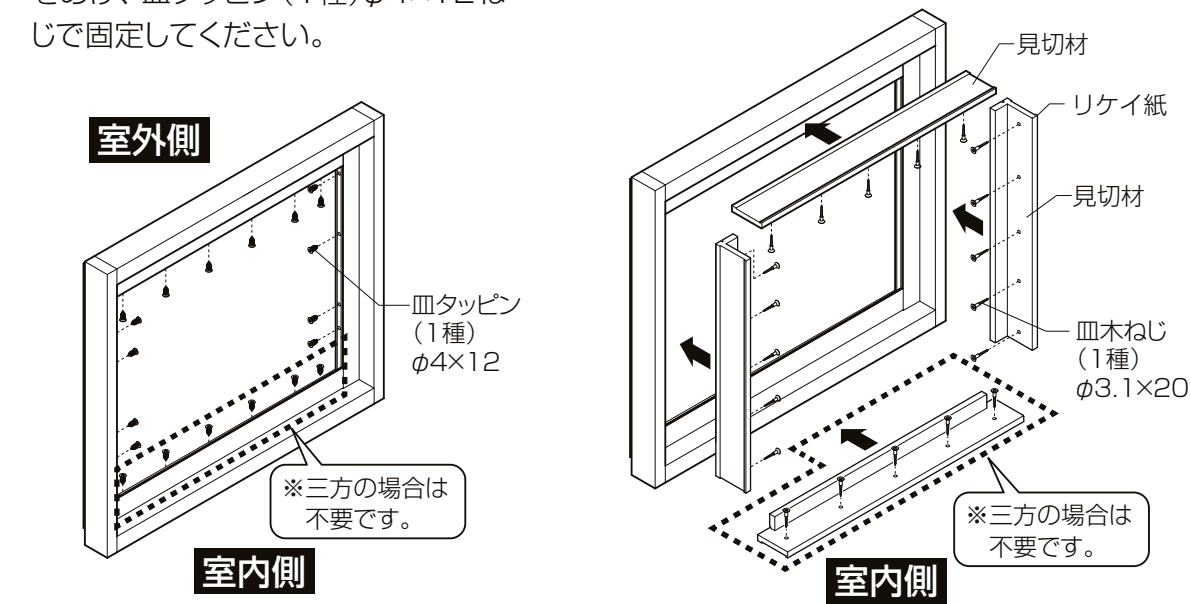
①組立てたアングルカバーを新設サッシにはめ込みます。



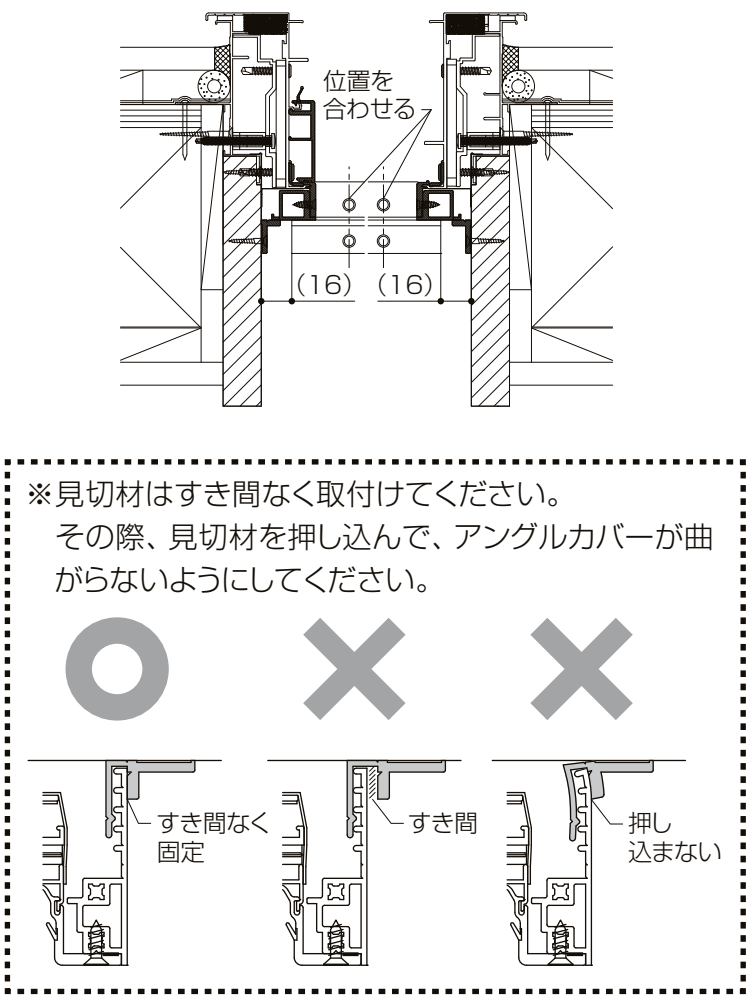
※見切材のアングルカバーのみ込み部を切断していない場合
※見切材をアングルカバーに先付けしてからはめ込んでください。
その際、見切材裏面の両面テープリケイ紙を端部だけはがしてください。
(全部はがすと、挿入時に窓枠に接着しやすくなり、作業性が悪くなります)

6. F型見切材の加工・取付け

- ②新設サッシの取付け穴に合わせて、
アングルカバーに下穴(φ1.5～2)
をあけ、皿タッピン(1種)φ4×12ね
じで固定してください。
- ③見切材をアングルカバーとすき間が出ないように当て、リケイ紙をはがして押し付けて圧着し、皿木ねじ(1種)
φ3.1×20で固定してください。

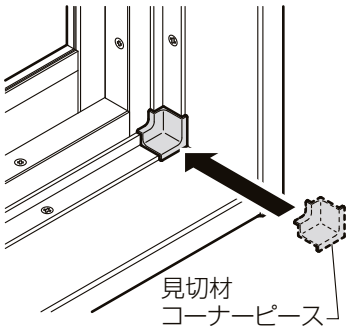


例：横断面



6-3 見切材コーナーピースの取付け

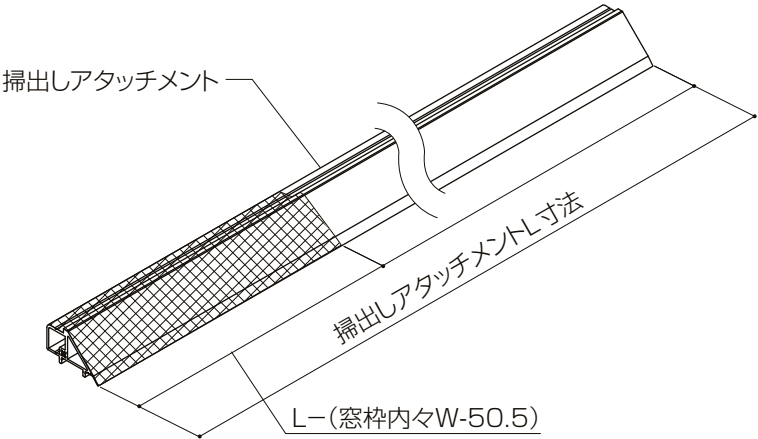
- ①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ③窓枠に強く押付けて圧着します。(四方)
※三方用の場合は、下部には取付けしません。



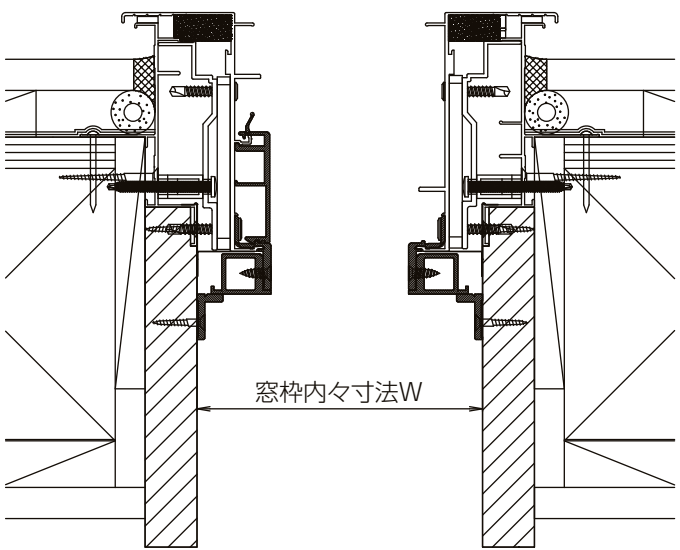
7. 掃出しアタッチメントの加工・取付け

7-1 掃出しアタッチメントの加工

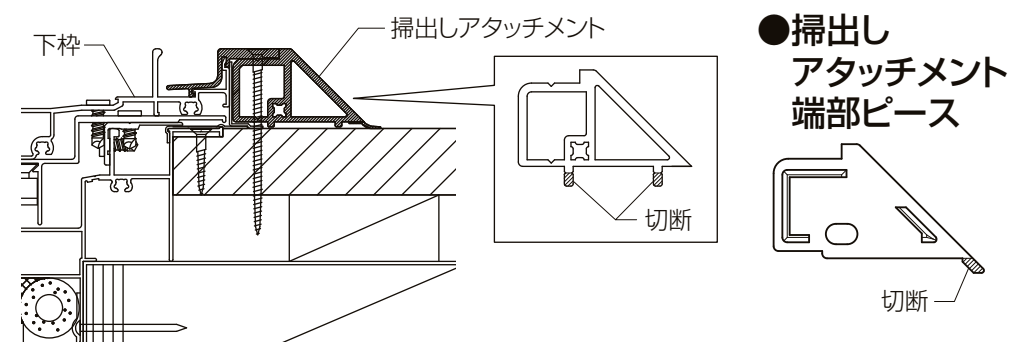
- ①既設窓枠の内々寸法を採寸し、②掃出しアタッチメントを切断します。
- 切断長さは、図を参考に切断機などで切断してください。
- ※窓枠・床がしゃくり付きの場合、高さを合わせるため、図を参考に組立てる前に、部材、部品を切断してください。
- ・掃出しアタッチメントを溝に合せてPカッターで数回切れ目を入れ、ペンチなどで折るようにして形材を切断してください。
 - ・掃出しアタッチメント端部ピースを溝に合せてカッターなどで切断してください。



■横断面図

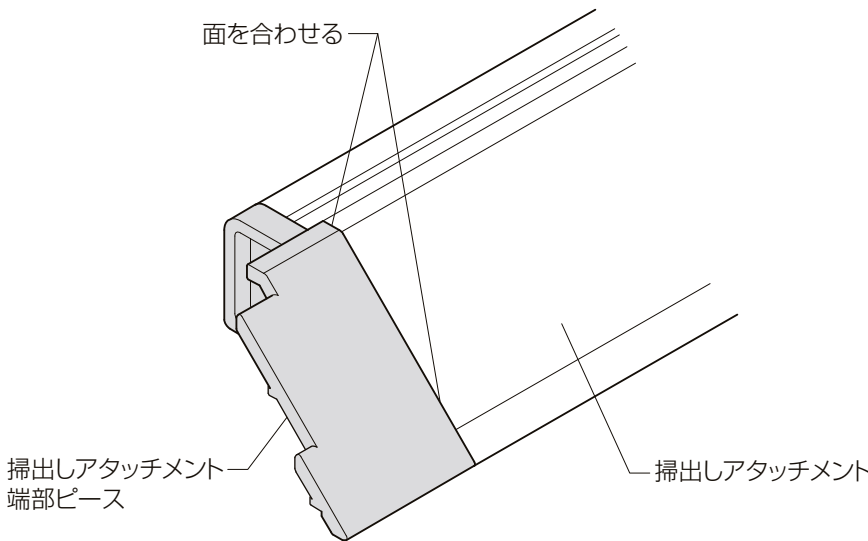
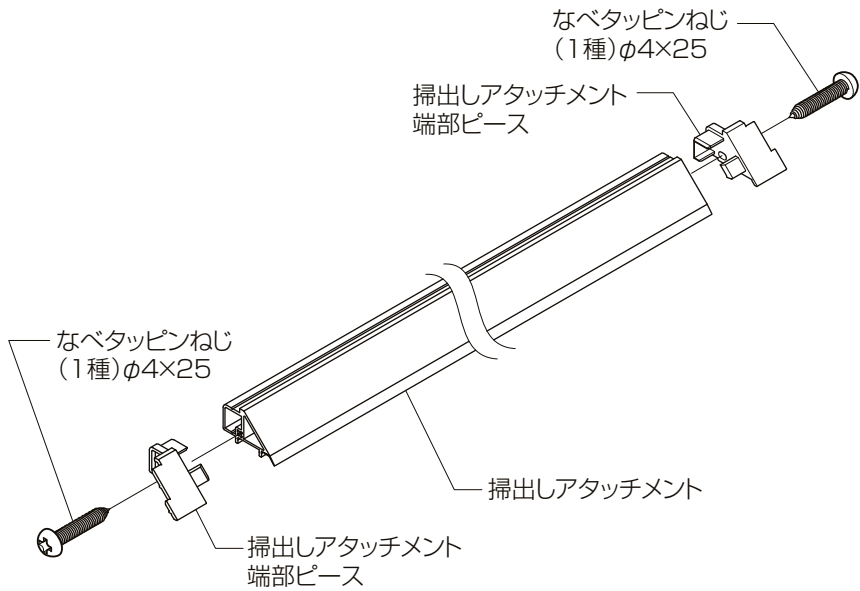


■しゃくり付きの場合



7-2 掃出しアタッチメントの組立て

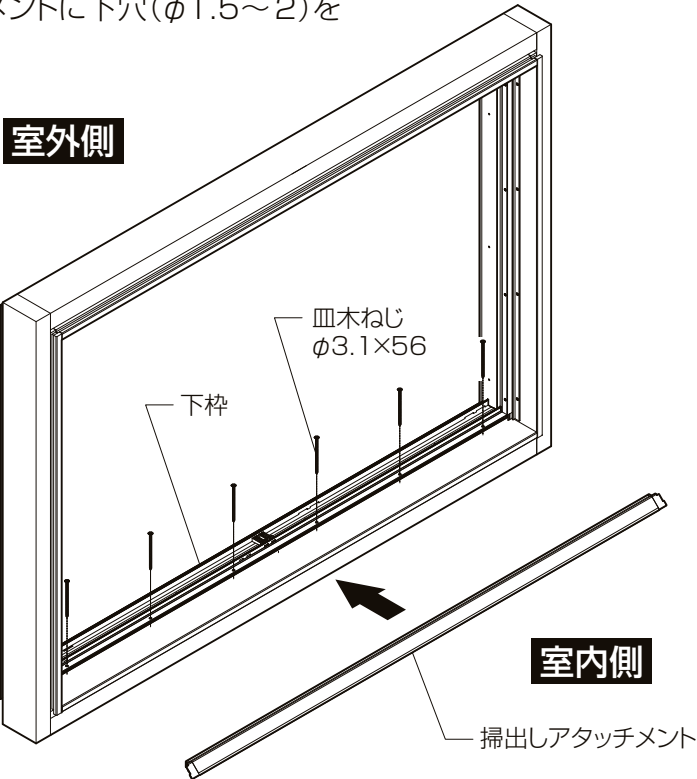
- ①掃出しアタッチメントの両端に掃出しアタッチメント端部ピースを差込み、面を合わせながらなベタッピンねじ(1種)φ4×25で固定します。



7-3 掃出しアタッチメントの取付け

- ①組立てた掃出しアタッチメントを新設サッシ下枠にはめ込みます。
- ②新設サッシの取付け穴に合わせて掃出しアタッチメントに下穴(φ1.5～2)をあけ、皿木ねじφ3.1×56で固定してください。

室外側



室内側

■断面図

